

「悪いサイクルと良いサイクル」

～過去の恵を記憶する人生～

ネヘミヤ9:9～37

今日は私たちの教会について考えてみたいです。この教会の建物はこだわって作りました。パイプオルガン、壁などの造りは本物に近い物に似せてつくりました。スペインのサクラダファミリアのようにいまだにたくさんのお金をかけて建築している教会もあります。一つの美術として素晴らしいのですが、私たちはどうしても形というものに思いをよせてしまいます。しかし、神様が一番願っているのは形ではあません。あなたの心の中がいかにか本物であるかです。神があなたの本来の姿と今の姿が一つになっているか、生まれたときの姿が今保たれているかです。本物に近づいて行ってキリストの身丈にまで成長させられているなら、外見ではなく、内から出るものは周りの人々に魅了を与えるものだと思います。そして、教会というものは、私たちひとりひとりが違うように全く違う素顔を与えられています。人が背が高い人低い人がるように、大きい教会、小さい教会があり、その役割があるのです。役割を果たすべき教会が本当の姿になっているかどうか問題です。教会の働きの中で出来ることは、わたしたち自身が神様にこうなりなさいといわれた姿にどれだけ近づいていけるかということです。今、教会のあるべき姿が失われてきているように思います。

イスラエルの民はかつてエジプトのひどい奴隷でした。あのピラミッドやスフィンクスを造られました。しかし神の愛によって奴隷状態から解放されました。そして、40年荒野をさまよいましたが、荒野にあってもたくさんの奇跡を体験しカナンの地によくはいることができました。しかし彼らはまた、人生を誤っていきます。どうして人生を誤ったのでしょうか。それは、幸せになったからです。彼らにとって幸せは本当に見なければならぬものを見失い自分の欲や願いがかなうことだけが幸せだったのかもしれませんが。彼らは問題が起こるたびに願いでではなく、文句になっていったのです。イスラエルでは悪循環と良い循環をみることができます。旧約聖書の時代には絶えず繰り返されてきました。私たちの間にもこのようなことが起きて返るのではないのでしょうか。あなたの周りで絶えず悪循環、良い循環が回っています。これを見極める事が出来るうちに決断するか選ぶことができます。教会というところが、悪い循環の中で生きてしまった私たちがもう一度その中で良い循環があることを見出す場であると、感じていただきたいのです。ネヘミヤは自分大事な民が同じような失敗に進まないためにこのネヘミヤ記9章を民全体に伝えました。悪いスパイラルから解放するためです。ネヘミヤは神殿を立て直そうとしたとき、4か月間祈り備えました。しかし敵が訪れネヘミヤの働きを止めようとして。その時も祈り神様に英知を求めていき、その外圧を乗り切っていました。そして、敵が押し寄せてきた時は槍と鋸をもって城壁を積み上げていきました。これはあなたの志と、いつ狙われてもいよいよ、御言葉の剣を持っていないければならないという比喻です。良い志を持っていても敵の攻撃に対し感情的になり心を乱しては砂の城になってしまいます。敵が来ても中に入れないように2つの道具を用いました。そして、内側からくる戦いがありました。これは同じ志をもつ民からの不平不満です。民が文句を言い従わない。ネヘミヤは内側から出る問題の表面的回復ではなく、神様がなされる究極的な解決を求めました。出エジプトの時代からの神様の多くの祝福を思い出させ、なぜ問題が起きているのか思い出すように民に示しました。問題の解決ではなく問題の原因を教えました。

①あなたのライフスタイルを理解する。～

あなたのライフスタイルがどのように繰り返されてきたか。しっかりと探らなければいけません。イスラエルの民は代々同じ流れでした。神様が祝福する。土地を与え豊かになる。平安になる→自分の願いを言い始める→願いがかなわないと不足が目に見える不満をいう→神様以外のものに頼る→敵が押し寄せてくる→負ける、土地をとられる。→神様はもう一度恵みを与えて助ける→豊かな地に導かれ平安を得る→また、不満をいう。これが、イスラエルの民のライフスタイルです。あなたはどうかですか？分析してみてください。何か起きるとこうなって、こうなるべきだけどうしてしまう。そして、私は悪くないというのです。しかし、よい循環が起きているならそうはならないのです。イスラエルの時代絶えず、よい循環と悪い循環がありました。神様はあなたの人生の負のスパイラルを解決しなさいと言っています。あなたが今日この場所で礼拝している神様

があなたに願うことは、私たちが神様が創られた姿にもどって、負のスパイラルから恵のスパイラルに帰れということなのです。その為には神様は十字架にもかかります。そしてあなたが、立ち返るために試練もゆるします。あなたの命が失われないために小さな事故もゆるします。でも、こっそり支えて、起き上がれなくならないようにみえています。愛しているからです。自分の人生にどんな負のスパイラルがあるのか、よくしなくては繰り返してしまいます。あなたのスパイラルがなんであるかを見極めて、そして、あなたの目の前にある神のスパイラルをしっかりと見ていただきたいのです。

②あなたは見誤っていませんか？

悪魔はどんなイメージですか？ここに座っていたら、すぐわかるでしょうか。悪魔は受け入れやすい声で、近づいてきます。光の御使いにまで化けてきます。あなたが愛すべき人を憎ませ、嫌うべき人を愛させ、大事にすべきものを不必要にさせ、大切にすべきものを捨てさせます。しかし、声が変わります。神様の声ならば平安がありますが、そうでなければ心が騒ぎ、少しのことでは覆ります。しかし、神様が与えた志は強い土台の上に立っているのです。固く立ち、壊れません。神様の志でないと少しの外圧で爆発しすべてを捨ててしまいたくなります。あなたが怒っている時狼は羊のマントをかぶり「わかるう。それ言い方～」と言って近づいてきます。確かに相手の言い方が悪いかもしれませんが。しかし、あなたが怒ってしまったら、あなたが悪いのです。言い方で、神様の計画を壊してはいけません。クリスチャンはいかなる風が吹こうとも砂ではなく、岩の上に建てた信仰の土台にたって問題を解決し、終わるまで乗り越えていかなければいけません。その群れの中でそのなりをして近づいてくるものはあなたを騙しています。あなたの大切なものを棄てさせます。今あなたの大切なものはなんですか？あなたに与えられた家族を否定させ、憎しみを与え、捨てさせようとしています。あなたに与えられた会社で、あなたの愛すべき人を憎ませようとしています。あなたがやっていることを否定してきます。神様が与えたのだから神様はしません。教会も今、教会同士で、言いあって、間違っています。教会は愛し合わなければなりません。自論はいいかもしれません。正しい真理は聖書にある人生の営みです。ゆるがないものです。ルールも上手なメッセージもいりません。人の賢さではなく、愚かさに働いてくださいます。安定している時こそ危険です。世の中で上手くいっても神の本質を見ていないと壊れます。一人一人が神様の御心を求めない限り祝福はありません。あなたの教会を建て上げてください。

③ 神様との契約

今日から私は負のスパイラルにいきません。恵みの中で神様に立ち返ります。人間の方法論にむかいません。イスラエルの民はネヘミヤを筆頭としてこの契約を神様の前に果たしました。こののち暫くの間真暗な時代をむかえます。そして、イエス・キリストが生まれます。そして、私たちの時代はそれがすでに起こった時代です。だから、このイスラエルの民よりも、責任が大きいのです。知っているにも関わらず、行わないのは大きな責めがともないます。ですから、私たちクリスチャンはもう一度何をしないといけないか思い返さないといいけません。あなたが神様が造られた本当の自分に帰ることに命をかけるということです。神様は命をかけて十字架であなたにそれを示しました。救いをもたらすという名をつけられたイエス様は救いをもたらすために自分を犠牲にする生き方を貫きました。彼の生き方を貫いた私たちがクリスチャン＝キリスト者としてよばれるのです。私たちクリスチャンが自分の姿に帰ろうとする小さな日々の生き方です。クリスチャンの小さな生き方はあなたの目に飛び込んできた一つの問題を見て見ぬふりをせずあなたの本当の思いで行うことです。私たちの行いが、イエスキリスト…行為になって行けるように、悪いサイクルを断ち切り、良いサイクルへ、そして本来の姿に戻る事に心を注いでいきましょう！

(要約者:澤口 明子)

(2019年2月10日)